

14 海の森づくり事業（クロメ移植技術開発事業；水産課事業）

担当：倉長亮二（増殖推進室）

実施期間：平成20～25年度（平成25年度予算額：340千円）

目的

近年、海域の海藻が磯見漁業の重要魚種であるサザエの資源生態および資源動向調査を行い、資源管理方策の検討材料とし、持続的な漁業生産の達成に資する。

方法

御来屋地区においてスポアバックによる藻場造成を試みる。

結果及び考察

御来屋地区では御来屋港西側で海藻が減少しているため、藻場造成の要望があり、御来屋支所と共同で造成に取り組んだ。今年度は6月28日及び7月8日にノコギリモク、12月3日にクロメの造成を行った。投入位置及び個数は図1、2のとおりで、6月のノコギリモク、12月のクロメについては、御来屋支所から定置網用土嚢を提供してもらい、これにサカイオーボックス製スポアバックを取り付け投入したが、7月のノコギリモクについては、土嚢に直接結びつけて投入した。（写真1、2）

成果と課題

今年度は御来屋において藻場造成を行ったが、藻場の減少は県内の多くの地域で言われており、今後地域を増やして取り組んで行く必要がある。



図1 ノコギリモク造成位置



図2 クロメ造成位置



写真1 ノコギリモクの造成



写真2 クロメの造成